

北海道支部 2018 年度研究発表講演会の報告

日時 2018年9月1日(土) 13:30~18:30

会場 旭川ウェルビーイング・コンソーシアム, 旭川市まちなか市民プラザ共用会議室
(旭川市1条通8丁目 Feeeal 旭川7階)

北海道胆振東部地震が9月6日に発生しましたが皆様ご無事でしたでしょうか。甚大な被害を被った厚真町、安平町、また近隣にお住まいの皆様、液状化などで住宅に被害を被った札幌市清田区、北広島市の皆様のご苦勞、不自由な生活につきまして報道で知るだけですが心痛むばかりです。私達も皆様が震災前に近い状況まで早く戻られることを心より願っております。さて講演会が数日違いで無事開催することができたのは奇跡的に思えますが、13時半より、北海道教育大学教育学部旭川校 渡壁 誠先生に「今、中学校の技術教育は...」と題してご講演を頂きました。司会の風間俊治支部長のご経歴紹介に引き続き、中学校技術担当教員への要求、技術教員志望学生への指導について事例を用いて分かりやすく説明を頂きました。引き続き、14時過ぎより17時前まで、道内大学、高専から10数名の参加者を得て、ショート発表が2件、一般発表4件、技術紹介1件の計7件の講演発表がありました。発表分野は流体力学、農業応用、ITの医療応用、森林火災についてなど幅広く、例年通り本学会の領域の広さを感じさせる講演会となりました。

さらに夕刻からは、ご講演を頂きました渡壁誠先生にご臨席を頂き、技術交流会を「きわき家」(旭川市二条通6)で開催いたしました。進行役の岡田昌樹副実行委員長による開会の辞、風間支部長による挨拶と乾杯の発声で懇談が始まりました。出席者の自己紹介や講演内容についてのお話、工学分野の教育・研究に関する話題や地元企業についての話題などに花が咲き、瞬く間に時間が過ぎ、早坂前支部長の締めの乾杯で成功裏に終了致しました。



会場前風景



渡壁先生の特別講演

(記: 大柏哲治, 写真: 風間俊治)